

令和8年6月5日（金）定例記者会見録  
「令和8年6月市議会定例会議案等の説明」

大久保市長

6月定例諫早市議会がスタートしますので、今日はその提出する議案も含めてご説明します。

話題として、来年1月31日長崎ミュージックフェスマラソン2027が、開催まであと239日となりました。

ランナー募集が6月1日からスタートしています。

できるだけ長崎県民の皆さんに走っていただきたいという実行委員会の思いもあって、長崎県民粋・ふるさと納税粋が先駆けてスタートいたしました。

このうち長崎県民粋は、わずか2日間で 2,000 人を超える状況です。

今日現在、県民粋のエントリーは締め切れ、非常に注目度が高いと期待し、また実感しています。（長崎県民粋は6月3日定員に達しました。）

残る一般粋は、チャリティ粋も含めて今月の12日から募集開始します。

現在ボランティアスタッフ約 3,500 人の募集も行っております。

支える誇りとして、ランナーをサポートしたい、あるいは大会を通じて我が町の魅力を発信したいという熱い思いを持った多くの皆さんに応募していただき、みんなで作るみんなの大会ということで、盛り上げていきたいと思っております。

長崎ミュージックフェスマラソン2027の大会アンバサダーに、元オリンピックのマラソン界のレジェンド、瀬古利彦さんが就任されました。

瀬古利彦さんにはこの大会当日や大会前の各種イベントにもご協力いただき、本大会の魅力発信などにお力添えをいただきたいと思っています。

音楽とランニングの融合ということで、その音楽の部分ですが、大会公式ソングを

ファンキスト そめやさいごう FUNKISTの染谷西郷さんに制作を依頼して、それが完成したということで、去る6月1日、諫早市の本町アーケードポケットパークで披露されました。

曲名は「Run to the Beat」、この曲を作るにあたり、そのセリフに県内・県外・海外の皆さんに思いのこもった言葉を募って、寄せられた多くの言葉の中から染谷西郷さんがセリフとして紡いで曲が出来上がりました。

軽快でテンポの速い、力強いリズムでもあります。

ぜひこの応援ソングがこれからどんどん披露されて、プラスバージョンもやっていくということですから、県内の音楽をされる人たちにどんどんこの曲を演奏していただいて、また機運を盛り上げていただきたいと思っておりますし、当日はランナーを鼓舞し、公式応援ソングでランナーの皆さんが気持ちよく力強く郷土を走り抜けていただくと期待しています。

令和8年6月5日（金）定例記者会見録  
「令和8年6月市議会定例会議案等の説明」

6月定例市議会に提出を予定している案件について、報告案件が11件、議案が14件で、議案のうち条例関係が5件、予算関係が3件、その他の案件で6件です。

特に予算案件で、令和8年度の一般会計補正予算 議案第52号（仮称）市民交流センター北側に予定している立体駐車場の建築にかかっていきます。

補正予算のポイントは、（仮称）市民交流センターの先行事業である立体駐車場整備のほか、諫早平山産業団地周辺の道路整備、また外国人材の受け入れ定着促進、小中学生のスポーツ文化活動の応援に関する予算など、48事業を盛り込んで編成しています。

6月補正予算額は28億4,300万円、補正後の予算総額は731億6,300万円で、前年度比0.1%増、9,000万円増の予算になっています。

補正予算の概要、主な事業は、6月補正では新規事業5事業を盛り込んでいます。

その中から2つ、新規事業の外国人材受入・促進事業で250万円。本年4月から市役所の企画財務部の中に国際推進室という組織を構築して、これから外国人材獲得に向けた情報収集や視察などをして、次年度の事業につなげていこうということです。

市内の企業の皆さんも人手不足がありますし、将来にわたって安定した多様な人材確保を目指していこうというのが大きな目的で、今回補正予算として250万円計上しています。

また、（仮称）市民交流センター整備事業ということで予算を計上しています。

全体の実施設計に入っていますが、質の高い500人程度の中規模ホールを兼ね備えた、老朽化して更新の時期を迎えている市民センターが中央公民館も併設し、生涯学習機能も併せ持っているということです。

整備を行うために、鉄骨の5階建て、車は約200台分の立体駐車場を先行して造っていこうということです。

事業の目的は、まち中に多様な世代の市民の皆さんが自由に交流をする、憩いの時間を過ごしていただくという、ゆとりのある空間の創出を目指すというものです。

説明は以上です。